

8月1、2日に東京都で開かれた小・中・高校生ボールルームダンス・全日本チャンピオンシップ女子同士高校生スタンダード部門で柴田幸奈さん(久慈高2年)、城内南奈子さん(八戸高2年)ペアが優勝。前人未踏の4連覇を達成しました。

「常に目指すはレベルアップ。今回はダイナミックな動きを取り入れたダンスに挑戦した」と柴田さん。城内さんは「技術、体力、集中力。自分たちの最大限のダンスをやりきった。優勝できて本当にうれしい」と喜びを語ります。

4連覇という快挙の原動力は「ダンスが好き」という強くまっすぐな気持ち。「一緒に踊るときが本当に楽しい」。二人は笑顔で声をそろえます。

ダンスを通して大きく成長してきた二人。城内さんは「努力は必ず報われる。ダンスがそれを教えてくれた」。柴田さんは「ダンスが自分の自信に。胸を張って多くのことに挑戦し続けたい」と力を込めます。

二人は常にパートナー。これからも助け合い、高め合い、互いに成長し続けます。

ダンスがくれた自信と努力  
わたしたちダンスが大好きです

■しばた・ゆきな  
(久慈高校2年)  
長内中学校卒。6歳から柴田ダンス教室でダンスを始める。中学2年時に同大会同部門で初優勝。ダンスのパートナーはいつも城内さん。主に男性パートのダンスを担当する。

# 柴田幸奈

平成21年度小・中・高校生ボールルームダンス全日本チャンピオンシップ  
女子同士高校生スタンダード部門 優勝 前人未踏4連覇を達成

■じょうない・ななこ  
(八戸高校2年)  
久慈中学校卒。柴田さんに誘われ同じく6歳からダンスを始める。中学2年時に同大会同部門で初優勝。ダンスのパートナーはいつも柴田さんと。主に女性パートのダンスを担当する。

# 城内南奈子

勝因はチーム力と山での経験。7月31日―8月3日に兵庫県で開かれた全国高校総合体育大会登山競技男子縦走種目で田端雄也くん(岩手高3年)擁する岩手高校が優勝。初の日本一に輝きました。

「競技中は暑い上に常に雨が慣れない気候で苦しかったが、チーム全員、信頼し合って乗り越えた」。15kgの荷物を背負い、4人1組で山に登る3日間。競技では登山方法の正確性や安全性だけでなく、気候や医療などの知識も評価の対象になります。

「良い結果を出すためには山に慣れ、山を知ることが必

# 田端雄也

平成21年度全国高校総合体育大会  
登山競技男子縦走種目 優勝



■みずかみ・たかふみ  
(久慈工業高校3年)  
長内中学校卒。中学時代は柔道部で活躍。春の全国大会で第2位。5月の県大会ではジャーク143kg、トータル253kgの県高校新記録を樹立。

平成21年度全国高校総合体育大会  
ウェイトリフティング競技  
105kg級第5位(スナッチ第4位・ジャーク第6位)

# 水上貴史

惜しくも逃した日本の頂点。8月12日、奈良県で開かれた全国高校総合体育大会

ウェイトリフティング競技105kg級で水上貴史くん(久慈工業高3年)がトータル253kg(スナッチ113kg・ジャーク140kg)を記録し、第5位に入賞。惜しくも頂点を逃し、涙を飲みました。

「気持ちと体のバランスがうまくいかなかった。日本一を狙える位置にいたので悔しい」。メダルまでの差は、スナッチが3kg、ジャークが6kg。強豪が集う全国大会。わ

次は高校最後の大会となる国民体育大会。水上くんは気持ち切り替え、前を見据えます。「体調管理と調整をしっかりと。持てる力を出し切って国体の表彰台を狙いたい」。抱負を語る強いまなざし。もうチャンスは逃さない。夏の悔しさをバネにして、水上くんは再び日本の頂点を目指します。

頂点惜しくも逃す



■たばた・ゆうや  
(岩手高校3年)  
霜畑中学校卒。冬はスキー部、夏は山岳部に所属。登山は夏場の体力作りも兼ねて高校から挑戦する。スキーのアルペン種目(大回転・回転)では県大会で入賞するなど中学時代から活躍。